

豊橋で実証に取り組む農業者と首都圏のスタートアップとの 交流イベントを東京で開催しました

豊橋市は、「未来の農をつくる」と題し、農業イノベーション創出を目指すプロジェクト「TOYOHASHI AGRI MEETUP（豊橋アグリミートアップ）」を実施し、日本一「農業系スタートアップがサービス開発しやすく、応援されるまち」となることを目指しています。

この取り組みを首都圏でも PR するため、10月10日に、今年度のアグリテックコンテストへの応募（10月20日まで募集）を検討しているスタートアップ等を対象とした交流イベントを開催しました。

当日は、本市で実証に取り組む農業者4名が登壇しました。農業現場の方々からは、実証パートナーに求めるポイント等をお話いただいたほか、実際に本市で実証を行っているスタートアップからは、豊橋だからこそ上手くいっていると感じること等をご紹介いただきました。

■概要

1. 日 時 令和7年10月10日（金）午後6時15分～午後8時15分
2. 会 場 Tokyo Innovation Base (TIB)（東京都千代田区丸の内3丁目8番地3）
3. 主 催 豊橋市
4. イベント概要
 - ・ 「豊橋アグリミートアップの現在と未来」をテーマとしたトークセッション
 - ・ テーブルごとに登壇者を配した参加者との対話形式の座談会
 - ・ ネットワーキング
5. 登壇者 イノチオアグリ株式会社 大門 弘明 氏（農業関連事業会社）
JA 豊橋青年部 中島 由盛 氏（キャベツ、葉タバコ等生産者）
百年柿園ベル・ファーム 鈴木 義弘 氏（次郎柿生産者）
輝翠株式会社 タミル・ブルーム 氏（スタートアップ）
6. 参加者 28名（首都圏に拠点を持つスタートアップ、農業関連事業会社等）

■参加者（首都圏のスタートアップ）のコメント

スタートアップからは、どのように現場（圃場）の管理に必要なデータを集めているか聞くことができました。また農業者からは、アグリテックの製品をどのように評価して導入しているかなど聞くことができ、いずれもアグリテックコンテストの応募を検討するうえで、有益な情報を得ることができました。

■担当者（地域イノベーション推進室）のコメント

首都圏での開催にも関わらず、30名近くの方にご参加いただいたことから、本事業の認知の拡大を実感しました。座談会では、登壇者と参加者の間で、内容の濃い意見交換が行われ、現在コンテストの応募テーマとして、ホームページに掲載している課題の解像度を高めることに繋がったと感じました。

今回のイベントを通して、今年度のアグリテックコンテスト一般部門において、豊橋の農業関係者が抱える課題の解決に向けた、熱意ある提案が多く寄せられると嬉しいです。

■当日の様子



【参考】

◇ R7 年度アグリテックコンテスト（一般部門）について

・ スケジュール

エントリー〆切	令和7年10月20日（月）
事前審査期間（書類審査・面談審査）	令和7年10月21日（火）～12月中旬
ファイナリスト決定	令和7年12月上旬
コンテスト・表彰式	令和8年1月27日（火） @穂の国とよはし芸術劇場 PLAT
実証実験の計画策定	コンテスト終了後～令和8年3月中
実証実験の開始	令和8年4月～

・ 一般部門ホームページ

<https://toyohashi-agri-meetup.jp/contest>



問合せ先 地域イノベーション推進室 室長補佐 小野（電話 51-3155）